







**炭労・総評指導部の逃亡許すな**

## 大資本の没収・労働者統制の思想と闘いが求められている

北 炭 夕 張

九月四日の新鉄労組臨時大会は、大荒れに荒れ流会となつた。それによると執行部の「炭労への委結案」は、炭労指導部の「いつたん閉山・全員解雇」を主張する組員からの激しい批判が続出し、投票の結果、擁護者多数となつた。今や労働者にとって実力による北炭の管理か、改良主義的陳情闘争かが問われる局面となつた。国の労働者は指導部の曉きの逃亡許さない、夕張労働者への連帶闘争を強め、政府・三井資本を追撃しよう。

### 労働者、徹底抗戦の構え

「われわれを何ぞ思つてい  
るんだ。萩原(三井観光開発会  
長)も、大沢(北炭夕張新鉄管  
人)も、政府も……」北炭夕張  
炭鉱労働者とガス突出事故犠  
者遺族の怒りが爆發した。

八月二日、大沢管財人によ  
る如の閉山・全員解雇要員で  
炭鉱史上類を見ない酷な条件  
である。「……九月二日で從  
業員の全員解雇」、解雇者のう  
るだら。萩原(三井観光開発会  
長)も、大沢(北炭夕張新鉄管  
人)も、政府も……」北炭夕張  
炭鉱労働者とガス突出事故犠  
者遺族の怒りが爆發した。

八月二日、大沢管財人によ  
る如の閉山・全員解雇要員で  
炭鉱史上類を見ない酷な条件  
である。「……九月二日で從  
業員の全員解雇」、解雇者のう  
るだら。萩原(三井観光開発会  
長)も、大沢(北炭夕張新鉄管  
人)も、政府も……」北炭夕張  
炭鉱労働者とガス突出事故犠  
者遺族の怒りが爆發した。

ある。

こんな理不尽な提案を誰が許  
せるだらうか。北炭夕張新鉄は  
昨年十月十六日、会社の苛酷な  
命理化、安否無視、生産第一主義  
によるガス突出事故で九三人の  
労働者の命を奪つたばかりであ  
る。そして同十月にはこの方  
突岡事故を多目として倒産

三億円(炭労ビラ)よりも一  
切タ上げといつて。ガス  
突出事故の遺族達にも未だ十分  
な保障金が支払われていない  
である。これを暴虐非道といわ  
ずして何ぞいおうか。

北炭夕張新鉄労組(三浦勝委  
員長千人以上十人)と同職員労  
組北野潔委員長(二百六十人)  
は八月三日、早朝一番方から  
二時間ストに入し、臨時大  
会を開き、閉山提案の撤回、新鉄  
の再建、労務債の完済、雇用の確  
保の方針を徹底抗戦で闘うこ  
とを決定した。そして二七日か  
らは東京の北炭グループの本社  
・三井観光開発会社(三井資本  
系会員、萩原宅)とその北海道  
観光開発の拠点・札幌グランド  
ホテル前で無期限座り込みの闘  
いに入った。

閉山・全員解雇通告を二日後  
にひかえた九月十七日には、十  
一日に続く第波ストを下請け  
労働者とともに組むとともに、  
夕張市の商店主・全市一体とな  
った地域ストに突入している。  
また新鉄労働者と遺族会は大挙  
上京し、三井資本と政府・通運省  
に対する抗議闘争へ突入して  
いる。

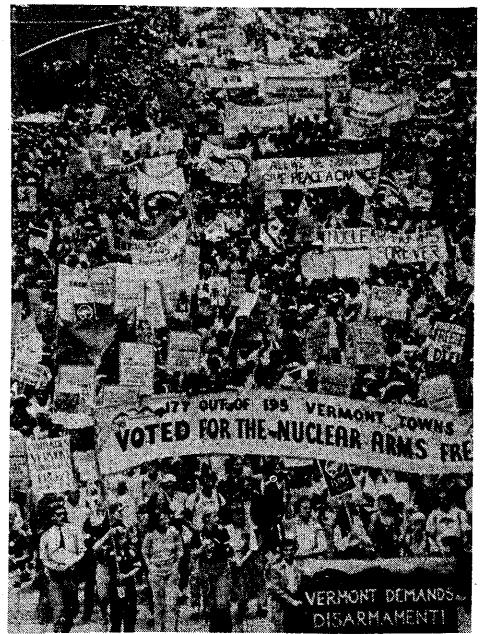
たものとされているが、土光臨

の現状に対する抗議闘争へ突入して  
いる。

たものとされているが、土光臨

の現状に対する抗議闘争





ニューヨーク百万人集会の隊列

米帝レーガンのヨーロッパを戦場と擬した「限定核戦争論」が、戦術的核兵器を使用した戦争の危険性を増大させた。ヨーロッパの労働者階級人民は、米ソの核軍拡と戦争の危険性に反対し、「反戦・平和」を要求して立ちあがり、ヨーロッパ全域に拡大した。それは日本や米国などへ拡大し、広島・東京集会への大結集や、ニューヨーク百万人集会にみられる高揚をつくりだした。

六十年代後半以来の先進資本主義国、帝国主義国の中枢部の労働者階級人民の大衆行動として進んできている。

今日の戦争準備と政治反動の強化、生活破壊という帝国主義政治に対する政治反対と核を結びつけた政治で対抗するうえで、何点かはつきりさせなければならない。

今日、帝国主義諸国が、なぜ原子力発電および核開発に力を注いでいるかと

いえば、今日の長期的な不況のなかで経需

要素を生みだし、景気浮揚を行ない経済的

要を生みだし、景気浮揚を行ない経済的

# 反戦反安保闘争の前進に向けて

## 核・原発問題とわれわれの態度(上)

佐野雅之

原子力長期計画

項目	現状	1980年代中	1990年代中
		1,500万kW	5,300万kW
軽水炉発電規模	実験炉「霧島」	原型炉「もんじゅ」	実証炉(30~80万kW級)
高増殖炉	原型炉「ふげん」	実証炉(60万kW級)	原型炉(5万kW)
新規格炉		海外投資によるウラン鉱開発	海外投資によるウラン鉱開発
多目的高温ガス炉		原形炉(250TSWU)	原形炉(250TSWU)
輸入	人間炉ハイロットフラン(60TSWU)	東洋炉(0.7トン/日)	第二再処理工場建設(5トン/日)
天然ウラン			第三再処理工場完成(50年代後半)
濃縮ウラン			民間プラント(?)
再処理工場			実証炉(30~80万kW級)
ブルトニウム燃料			
核融合			

\* SWU=分離作業単位

78年9月の原子力委員会の「長期計画」と、その後の通産省、科学技術庁計画案をまとめた資料——『危機の科学』より転載

主義政治の継続になるのかを明らかにしよう。ミシチランは大統領選で社会党の「エネルギー政策」を掲げ、特に「原子力開発については、全国の討議を組織する」と公約していた。そして、第一回投票でニコロジストが獲得した三・八%を第一回投票で獲得することによって大統領選に勝利したといわれている。

当初ミシチランは、総選挙を前にしてエコロジストが獲得した三・八%を第一回投票で獲得することによって大統領選に勝利したといわれている。社会党は「自分の選挙区には原発を作らない」という公約のもとに大勝したのである。だがミシチラン政権は一転して原発を推進を打ち出し、「国際的討議」は原発の構造に対するのがねらはづきとした核兵器の問題についての態度を明確にすることであり、同時に「核」に反対する政治的内容を明らかにするべきだ。

それは、危険性をもつていて戦争の性質を発展させる労働者階級のとるべき態度について提起をしたい。

それは、危険性をもつていて戦争の性質を発展させる労働者